

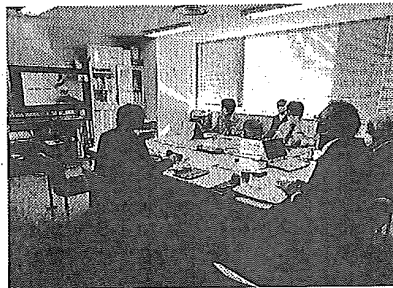
## 地球温暖化の 影響テーマに

建コン協九州  
防災シンポ開く

建設コンサルタンツ協会（建コン協）九州支部（田中清支部長）は10日、2021年度の防災シンポジウムをオンライン配信で開いた。約100人が聴講。鹿児島大学特任研究員の中谷剛氏が「地球温暖化と九州地方への影響」と題し講演した。写真。

開会あいさつで田中支部

長は「九州には東西に長く広い流域の河川が多く、線状降水帯と河川の流域が重なることによって水害常襲地帯となっている」とし



「本日の話が講演が防災・減災、国土強靱化の業務に携わる皆さんのヒントになれば」と述べた。

中谷氏は「これまでは100年に1度未満くらいの気温上昇だったが近年は上昇速度が上がっている。今後気を付けないと加速度的に地球の温度が上がってしまつことが心配される」などと話した。地球温暖化による九州と九州各県への影響の分析結果を説明し、地球温暖化予測計算データなどの取得方法を紹介した。